

緑のふるさと協力隊員
高瀬美智子の奮闘記②

み・す・し・る・へ



子育て支援施設の「おはなし会」に、お手伝いとして参加しました。

高瀬美智子 群馬県みどり市出身・緑のふるさと協力隊員第17期生
緑のふるさと協力隊は、特定非営利活動法人地球緑化センターが推進する事業。農山村に興味を持つ若者を、地方自治体に一年間派遣。隊員として、農業や観光施設などで協力活動をする。美智子さんは、本町4代目の隊員。「おじいちゃん、おばあちゃんが大好きなんです」と朗らかに笑う21歳。

梅雨。天気が変わるスピードに驚く毎日です。雨が降ったと思ったら、急に晴れてみたり。場所によつて天気が違う。わたしが住んでいたみどり市を思い出します。7月中旬、農林業センターでお茶の挿し木をしました。お茶の木を土に挿しておく、根っこが出てくるんです。なんて不思議。大勢でやる作業は、とてもぎやかで楽しかった。

フォーレなかかわね茶銘館では、接客などのお手伝いをしました。本格的なお茶の入れ方も体験。時間はかかりますが、一度お湯を冷まして入れるお茶はやっぱりおいしいのです。出がらしを使って香り袋を作りました。ほのかな香りがしています。

静岡空港で開かれた「呈茶」のお手伝いに行きました。県外の人たちは「川根茶」を飲むとおいしいと言っています。それを見ると「わたしはおいしいお茶を飲め

る、恵まれた環境にいるんだな」と実感します。

子育て支援施設でお手伝いしました。恥ずかしがりやな子、活発な子、ヘビが好きな子、床に寝そべるのが好きな子、いろんな子がいます。子どもたちの笑顔を見ると、こういう場所の大切さを感じます。

椎茸の菌床栽培をしているところに行きました。菌床栽培を初めて見ました。なんだか生え方が不思議で面白い。いい椎茸の見分け方も教えてもらいました。案外若い人が働いていて驚きました。

梅雨も終わり、本格的な夏がやってきます。今は8月15日の徳山の盆踊に向けた、笛の練習を始めています。家で吹いてみるんですが、これがなかなか大変。肺活量が必要なんです。これから一日おきに練習が始まります。本番でしっかりと吹けるよう、地域の人たちと一緒に、練習を重ねます。

